

第8回 沖縄県アンダー40 設計競技 ティードフラッグス 2019 審査講評

県内の若手建築家を対象とするコンペも8回目を迎え、今回は、32の力作が提案されました。次世代を担う若い建築家の皆様方からの大きな支持が広がっていることを実感し、心からうれしく思います。

今回も若手らしい斬新でユニークなアイデアと課題に対する真摯な取り組みが強く感じられ、非常にレベルの高い優れた提案がなされました。そうした中から一次審査では、課題に対する解決力、実施案としての実現可能性、さらにはプランの表現等を審査員で熟議し、7作品を最終審査の対象としました。

最終審査では、公開でのプレゼンテーションと質疑応答を実施し、選考委員による公開での投票の結果、金賞（作品番号27）、銀賞（作品番号24）、銅賞（作品番号1）の3作品を選出しました。

金賞（作品番号27）の作品は、森に浮かぶ雲をイメージした軽やかな屋根デザインや工期やコスト縮減も見据えた適切な材料・構造を選定した点等が高く評価された作品でした。

銀賞（作品番号24）の作品は、トイレ利用者のプライバシーや隣接遊具及び公園利用者の動線を意識したバランスのよい配置計画等が評価されました。

銅賞（作品番号1）の作品は、課題に対する解決方法を適切にダイアグラム化し、それに基づいて細分化したトイレユニットと円形広場の配置した点等が評価されました。

また、前回に引き続き今回も7つの学生作品の中から学生賞1点を決定しました。学生賞（作品番号22）の作品は、傾斜に沿ってボリュームを抑えたトイレ配置や優れたプロポーション感覚によるデザイン等が評価されました。

以上が審査概要ですが、今回も公開プレゼンには大勢の参集を賜り、沖縄建築界の躍動する将来を感じさせるコンペとなりました事は、大きな成果といえましょう。本事業に参加された皆様、そして事業を推進された沖縄県、並びに沖縄県建築士会に感謝すると共に、沖縄建築界の益々の発展を期待します。

選考委員長 伊礼 智（有限会社伊礼智設計室 代表取締役） 印

